

## 6 世 帯

- 1世帯当たりの人員は2.23人で減少傾向 -

世帯総数は595,513世帯で、前回調査から52,425世帯(9.7%)増加し、世帯人員は1,327,011人で、前回調査から77,106人(6.2%)増加しました。1世帯当たり人員は2.23人で、前回調査から0.07人減少しています。このうち、一般世帯の世帯数は592,578世帯で、前回調査から52,742世帯(9.8%)増加し、世帯人員は1,312,168人で、前回調査から72,611人(5.9%)増加しました。1世帯当たり人員は2.21人で、前回調査から0.09人減少しています。施設等の世帯の世帯数は2,096世帯で、前回調査から443世帯(17.4%)減少しましたが、世帯人員は13,984人で、前回調査から4,512人(47.6%)増加しました。1世帯当たり人員は6.67人で、前回調査から2.94人の増加となりました。

昭和55年調査からの推移をみると、一般世帯は世帯数、世帯人員ともに一貫して増加していますが、核家族化の進行や単独世帯の増加により、世帯数の増加率が人口増加率を上回っているため、1世帯当たり人員は一貫して減少しています。(表26)

表26 世帯の種類別世帯数と人員の推移

年次別 区 別	総 数			一 般 世 帯			施 設 等 の 世 帯		
	世帯数	世帯人員	1世帯当 り世帯人員	世帯数	世帯人員	1世帯当 り世帯人員	世帯数	世帯人員	1世帯当 り世帯人員
	実 数								
昭和55年	376 690	1 040 802	2.76	374 556	1 031 494	2.75	2 134	8 483	3.98
60年	404 762	1 088 624	2.70	402 935	1 080 845	2.68	1 723	7 657	4.44
平成 2年	466 084	1 173 603	2.52	462 553	1 163 401	2.52	1 323	7 640	5.77
7年	503 711	1 202 820	2.39	501 504	1 193 788	2.38	1 372	8 093	5.90
12年	543 088	1 249 905	2.30	539 836	1 239 557	2.30	2 539	9 472	3.73
<b>17年</b>	<b>595 513</b>	<b>1 327 011</b>	<b>2.23</b>	<b>592 578</b>	<b>1 312 168</b>	<b>2.21</b>	<b>2 096</b>	<b>13 984</b>	<b>6.67</b>
	増 加 率 ( % )								
昭和60年	7.5	4.6	0.06	7.6	4.8	0.07	19.3	9.7	0.46
平成 2年	15.2	7.8	0.18	14.8	7.6	0.16	23.2	0.2	1.33
7年	8.1	2.5	0.13	8.4	2.6	0.14	3.7	5.9	0.13
12年	7.8	3.9	0.09	7.6	3.8	0.08	85.1	17.0	2.17
<b>17年</b>	<b>9.7</b>	<b>6.2</b>	<b>0.07</b>	<b>9.8</b>	<b>5.9</b>	<b>0.09</b>	<b>17.4</b>	<b>47.6</b>	<b>2.94</b>
	区 の 実 数								
川 崎 区	94 099	203 804	2.17	91 794	200 371	2.18	1 757	2 885	1.64
幸 区	63 177	144 487	2.29	63 008	143 545	2.28	46	817	17.76
中 原 区	103 322	210 543	2.04	103 210	209 071	2.03	75	1 435	19.13
高 津 区	91 409	201 792	2.21	91 323	199 917	2.19	48	1 837	38.27
宮 前 区	84 555	207 895	2.46	84 494	205 610	2.43	56	2 262	40.39
多 摩 区	96 837	205 389	2.12	96 688	203 147	2.10	65	2 158	33.20
麻 生 区	62 114	153 101	2.46	62 061	150 507	2.43	49	2 590	52.86

(注)総数には世帯の種類「不詳」を含みます。1世帯当たり人員は増加数(ポイント)。

- 区別の1世帯当たりの人員は宮前区と麻生区が2.46人で最も多い -

区別に1世帯当たり人員をみると、宮前区と麻生区が2.46人で最も多く、反対に中原区が最も少なく2.04人、次いで多摩区の2.12人となっています。一般世帯についても同じ順位となっていて、宮前区と麻生区が2.43人で最も多く、少ない方から中原区2.03人、多摩区2.10人の順となっています。また、一般世帯の1世帯当たり人員を前回調査と比べると、全ての区で減少しています。(表26)

- 世帯人員 2 人以下の世帯が増加傾向 -

一般世帯の世帯人員別の割合をみると、1人世帯が 39.6%（前回比 1.6 ポイント増）で最も高く、次いで 2人世帯が 24.7%（同 1.2 ポイント増）、3人世帯が 16.8%（同 0.4 ポイント減）、4人世帯が 14.0%（同 1.4 ポイント減）となっており、2人以下の世帯の割合が大幅に増加しており、全体の 3 分の 2 近くを占めています。2 人以下の世帯の割合は一貫して増加傾向にあり、昭和 60 年調査と比べると 15.3 ポイントも上昇しています。

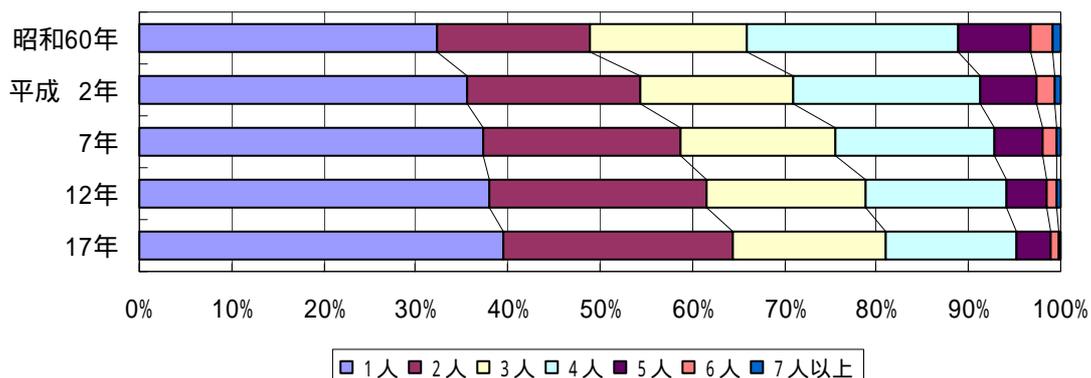
前回調査からの増加率をみると、2人世帯が 15.7%増加したのを始め、1人世帯が 14.3%増、3人世帯が 6.6%増と世帯人員が 3 人以下の世帯では増加しているのに対し、4人以上の世帯ではいずれも減少しています。

区別の世帯人員別の割合をみると、全ての区で 1人世帯が最も高く、次いで 2人世帯、3人世帯と世帯人員が増えるほど割合が減少しています。1人世帯の割合が最も高いのは中原区( 47.9% )で、次いで多摩区( 44.9% )の順になっています。(表 27・図 12)

表 27 世帯人員別一般世帯数

年次別 区 別	総数	世帯人員 が1人	2人	3人	4人	5人	6人	7人以上
実 数								
昭和60年	402 935	130 517	66 690	68 579	92 529	31 588	9 303	3 729
平成 2年	462 553	164 408	86 637	77 112	93 533	29 015	8 661	3 187
7年	501 504	187 770	106 760	84 880	86 055	25 909	7 508	2 622
12年	539 836	205 266	126 604	93 118	83 197	23 534	6 088	2 029
17年	<b>592 578</b>	<b>234 651</b>	<b>146 536</b>	<b>99 302</b>	<b>83 092</b>	<b>21 964</b>	<b>5 359</b>	<b>1 674</b>
構 成 比 (%)								
昭和60年	100.0	32.4	16.6	17.0	23.0	7.8	2.3	0.9
平成 2年	100.0	35.5	18.7	16.7	20.2	6.3	1.9	0.7
7年	100.0	37.4	21.3	16.9	17.2	5.2	1.5	0.5
12年	100.0	38.0	23.5	17.2	15.4	4.4	1.1	0.4
17年	<b>100.0</b>	<b>39.6</b>	<b>24.7</b>	<b>16.8</b>	<b>14.0</b>	<b>3.7</b>	<b>0.9</b>	<b>0.3</b>
増 加 率 (%)								
平成 2年	14.8	26.0	29.9	12.4	1.1	8.1	6.9	14.5
7年	8.4	14.2	23.2	10.1	8.0	10.7	13.3	17.7
12年	7.6	9.3	18.6	9.7	3.3	9.2	18.9	22.6
17年	<b>9.8</b>	<b>14.3</b>	<b>15.7</b>	<b>6.6</b>	<b>0.1</b>	<b>6.7</b>	<b>12.0</b>	<b>17.5</b>
区 の 構 成 比 (%)								
川 崎 区	100.0	41.8	24.1	15.8	12.6	4.1	1.2	0.4
幸 区	100.0	35.8	27.3	17.6	13.7	4.2	1.1	0.3
中 原 区	100.0	47.9	22.4	14.1	11.7	3.1	0.7	0.2
高 津 区	100.0	40.4	24.5	16.9	13.6	3.5	0.8	0.3
宮 前 区	100.0	30.0	26.7	20.1	17.8	4.1	1.0	0.3
多 摩 区	100.0	44.9	23.0	14.8	12.9	3.3	0.8	0.3
麻 生 区	100.0	29.8	27.4	19.9	17.6	4.1	0.8	0.3

図 12 世帯人員別一般世帯数割合の推移



- 夫婦と子供から成る世帯の割合は低下傾向 -

一般世帯数 592,578 世帯のうち、世帯主と親族関係にある世帯員がいる「親族世帯」は 352,120 世帯（一般世帯数の 59.4%）、「単独世帯」は 234,651 世帯（同 39.6%）世帯主と親族関係にない者が暮らす「非親族世帯」は 5,807 世帯（同 1.0%）となっています。

「親族世帯」のうち、「核家族世帯」は 319,257 世帯（一般世帯数の 53.9%）で、そのうち「夫婦と子供から成る世帯」は 170,909 世帯（同 28.8%）「夫婦のみの世帯」は 107,665 世帯（同 18.2%）「ひとり親と子供から成る世帯」は 40,683 世帯（同 6.9%）となっています。また、核家族以外の親族世帯は 32,863 世帯（同 5.5%）となっています。

これらを前回調査と比べると、「親族世帯」が 6.5%、「単独世帯」が 14.3%増加し、非親族世帯も一般世帯数に占める割合はわずかなものの、増加率は 49.7%と高い伸びを示しています。

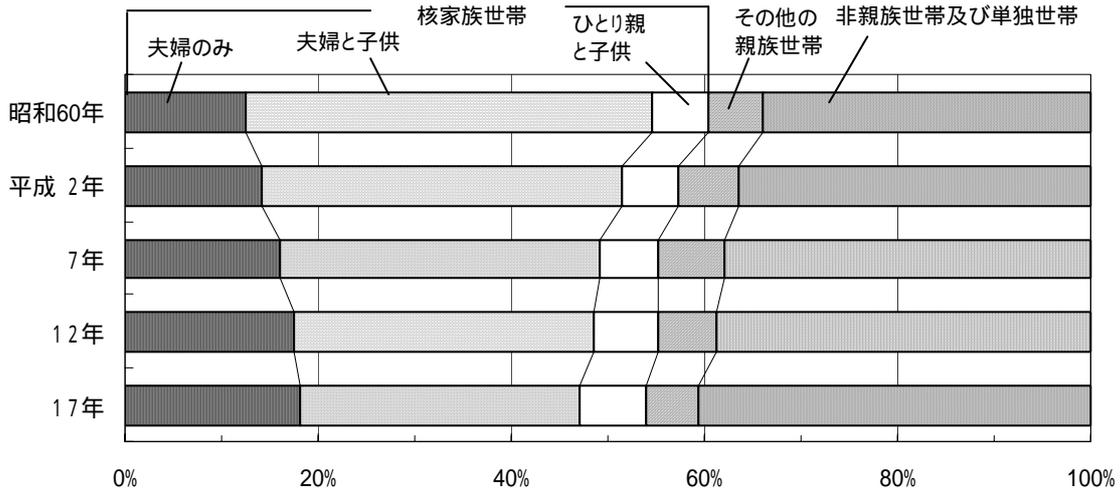
また、「核家族世帯」での増加率をみると、「女親と子供からなる世帯」が 14.7%増、「夫婦のみの世帯」が 14.5%増、「男親と子供からなる世帯」が 9.3%増と高い伸びを示したのに対し、「夫婦と子供から成る世帯」は 1.9%の増加となっています。

昭和 60 年調査以降について、一般世帯の家族類型別割合の推移をみると、核家族世帯のうち、「夫婦と子供から成る世帯」の割合は低下傾向にあり、「夫婦のみの世帯」と「女親と子供から成る世帯」の割合は上昇傾向にあります。また、「その他の親族世帯」の割合は低下傾向にあり、「単独世帯」の割合は上昇傾向にあります。（表 28・図 13）

表 28 家族類型別一般世帯数

年次別 区 別	総 数	親 族 世 帯						非親族世 帯	単独世帯	
		総 数	核 家 族 世 帯				その他の 親族世帯			
			総 数	夫婦のみ	夫婦と子	男親と子				女親と子
世 帯 数										
昭和60年	402 935	271 312	234 682	48 754	163 238	3 920	18 770	36 630	1 106	130 517
平成 2年	462 553	297 109	261 150	64 437	169 999	4 884	21 830	35 959	1 036	164 408
7年	501 504	311 485	276 913	80 135	166 174	5 498	25 106	34 572	2 249	187 770
12年	539 836	330 691	297 525	94 029	167 744	6 266	29 486	33 166	3 879	205 266
<b>17年</b>	<b>592 578</b>	<b>352 120</b>	<b>319 257</b>	<b>107 665</b>	<b>170 909</b>	<b>6 851</b>	<b>33 832</b>	<b>32 863</b>	<b>5 807</b>	<b>234 651</b>
構 成 比 ( % )										
昭和60年	100.0	67.3	58.2	12.1	40.5	1.0	4.7	9.1	0.3	32.4
平成 2年	100.0	64.2	56.5	13.9	36.8	1.1	4.7	7.8	0.2	35.5
7年	100.0	62.1	55.2	16.0	33.1	1.1	5.0	6.9	0.4	37.4
12年	100.0	61.3	55.1	17.4	31.1	1.2	5.5	6.1	0.7	38.0
<b>17年</b>	<b>100.0</b>	<b>59.4</b>	<b>53.9</b>	<b>18.2</b>	<b>28.8</b>	<b>1.2</b>	<b>5.7</b>	<b>5.5</b>	<b>1.0</b>	<b>39.6</b>
増 加 率 ( % )										
平成 2年	14.8	9.5	11.3	32.2	4.1	24.6	16.3	1.8	6.3	26.0
7年	8.4	4.8	6.0	24.4	2.3	12.6	15.0	3.9	117.1	14.2
12年	7.6	6.2	7.4	17.3	0.9	14.0	17.4	4.1	72.5	9.3
<b>17年</b>	<b>9.8</b>	<b>6.5</b>	<b>7.3</b>	<b>14.5</b>	<b>1.9</b>	<b>9.3</b>	<b>14.7</b>	<b>0.9</b>	<b>49.7</b>	<b>14.3</b>
区 の 構 成 比 ( % )										
川 崎 区	100.0	57.2	49.9	16.6	25.0	1.4	6.9	7.3	1.0	41.8
幸 区	100.0	63.3	56.8	19.5	28.6	1.5	7.2	6.6	0.9	35.8
中 原 区	100.0	51.0	46.0	16.4	24.3	0.9	4.5	5.0	1.1	47.9
高 津 区	100.0	58.4	53.2	17.8	28.7	1.1	5.5	5.2	1.2	40.4
宮 前 区	100.0	69.0	64.0	20.4	36.5	1.1	6.0	5.0	0.9	30.0
多 摩 区	100.0	54.0	49.0	16.9	26.4	1.0	4.8	5.0	1.1	44.9
麻 生 区	100.0	69.6	64.5	21.5	36.0	1.1	5.8	5.1	0.5	29.8

図 13 一般世帯の家族類型別割合の推移



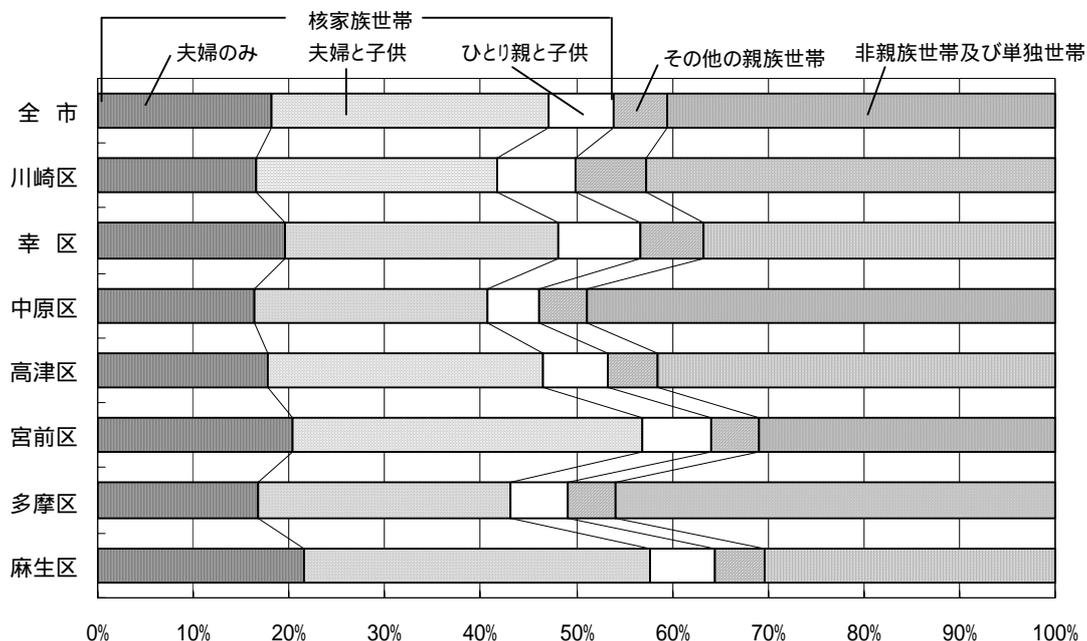
- 単独世帯は中原、多摩、川崎、高津と4つの区で4割を超えた -

区別に家族類型別の割合をみると、「親族世帯」の割合は、麻生区が69.6%、宮前区が69.0%と7割近くの割合を示し、最も低いのは中原区の51.0%となっています。

「核家族世帯」の割合は麻生区の64.5%と宮前区の64.0%で6割以上の高い割合を示したのに対し、中原区の46.0%、多摩区の49.0%、川崎区の49.9%と3区で5割を下回っています。核家族世帯のうち、「夫婦のみの世帯」の割合が高いのが麻生区21.5%と宮前区20.4%で2割を超え、「夫婦と子供から成る世帯」の割合が高いのも同じく宮前区36.5%と麻生区36.0%で3割を超えています。一方、「ひとり親と子供から成る世帯」の割合が高いのは幸区8.7%と川崎区8.3%となっています。

また、「単独世帯」の割合が最も高いのは、中原区の47.9%で、次いで多摩区が44.9%、川崎区が41.8%、高津区が40.4%と4つの区で4割を超えており、最も低いのは麻生区の29.8%と3割を下回っています。(表28・図14)

図 14 区別、一般世帯の家族類型別割合



- 6歳未満親族のいる母子世帯は、この10年間で約1.65倍に -

一般世帯の母子世帯数は6,139世帯、父子世帯数は957世帯となりました。前回調査と比べると、母子世帯は994世帯(19.3%)、父子世帯は58世帯(6.5%)それぞれ増加しています。特に母子世帯数は平成7年(4,187世帯)と比べると、約1.47倍に拡大しています。また、母子世帯は父子世帯の約6.4倍もの値を示しています。

6歳未満及び18歳未満親族のいる世帯をみると、それぞれ母子世帯は1,262世帯と5,677世帯、父子世帯は80世帯と814世帯となり、母子世帯の6歳未満親族のいる世帯は、平成7年(763世帯)の約1.65倍に拡大し、父子世帯(80世帯)の約15.8倍もの値を示しています。

区別にみると、母子世帯、父子世帯ともに川崎区(1,348世帯、205世帯)が最も多く、麻生区(530世帯、90世帯)が最も少なくなっています。特に川崎区の母子世帯は、麻生区の約2.54倍もの値を示しています。(表29・30)

表29 母子世帯の一般世帯数及び一般世帯人員

年次別 区 別	母 子 世 帯				
	世帯数	世帯人員	1世帯当 たり人員	(再掲) 6歳未満親族 のいる世帯	(再掲) 18歳未満親族 のいる世帯
	実 数				
平成 7年	4 187	10 733	2.56	763	3 729
12年	5 145	13 508	2.63	1 106	4 712
<b>17年</b>	<b>6 139</b>	<b>16 097</b>	<b>2.62</b>	<b>1 262</b>	<b>5 677</b>
	増 加 率 (%)				
12年	22.9	25.9	2.4	45.0	26.4
<b>17年</b>	<b>19.3</b>	<b>19.2</b>	<b>0.1</b>	<b>14.1</b>	<b>20.5</b>
	区 の 実 数				
川 崎 区	1 348	3 601	2.67	331	1 270
幸 区	865	2 290	2.65	202	792
中 原 区	732	1 850	2.53	122	665
高 津 区	950	2 512	2.64	184	888
宮 前 区	916	2 424	2.65	166	842
多 摩 区	798	2 061	2.58	146	731
麻 生 区	530	1 359	2.56	111	489

表30 父子世帯の一般世帯数及び一般世帯人員

年次別 区 別	父 子 世 帯				
	世帯数	世帯人員	1世帯当 たり人員	(再掲) 6歳未満親族 のいる世帯	(再掲) 18歳未満親族 のいる世帯
	実 数				
平成 7年	865	2 184	2.52	74	728
12年	899	2 291	2.55	86	764
<b>17年</b>	<b>957</b>	<b>2 443</b>	<b>2.55</b>	<b>80</b>	<b>814</b>
	増 加 率 (%)				
12年	3.9	4.9	0.9	16.2	4.9
<b>17年</b>	<b>6.5</b>	<b>6.6</b>	<b>0.2</b>	<b>7.0</b>	<b>6.5</b>
	区 の 実 数				
川 崎 区	205	529	2.58	16	179
幸 区	119	297	2.50	11	101
中 原 区	111	276	2.49	8	95
高 津 区	125	315	2.52	12	99
宮 前 区	150	382	2.55	12	130
多 摩 区	157	408	2.60	13	133
麻 生 区	90	236	2.62	8	77

- ひとり親と子供から成る世帯の割合は 15 大都市で最も低い -

15 大都市の家族類型別一般世帯数の割合をみると、「核家族世帯」の割合が最も高いのは、さいたま市の 64.1%となり、反対に最も低いのは、東京都区部の 48.2%となっています。本市は 53.9%で 10 番目となり、全国の 57.9%を下回りました。

核家族世帯のうち「夫婦のみの世帯」の割合は、最も高いのが北九州市の 21.3%で、最も低いのが福岡市の 15.3%となっています。本市は 18.2%で 10 番目となり、全国の 19.6%を下回りました。「夫婦と子供から成る世帯」の割合は、最も高いのがさいたま市の 36.6%で、最も低いのが東京都区部の 23.7%となっています。本市は 28.8%で 7 番目となり、全国の 29.9%を下回りました。「ひとり親と子供から成る世帯」の割合は、最も高いのが北九州市の 9.8%となり、本市は 6.9%で最も低い割合となりました。

また、「その他の親族世帯」の割合が最も高いのは、静岡市の 14.8%となり、次に高い仙台市の 8.6%とは 6.2 ポイントの差があり、全国の 12.1%を大都市の中で唯一上回りました。本市は東京都区部、札幌市と同じ値の 5.5%で最も低くなりました。

「単独世帯」の割合が最も高いのは東京都区部の 45.4%で、次いで福岡市の 43.9%、大阪市の 42.7%となり、この 3 市が 4 割を超えています。反対に最も低いのは静岡市の 27.4%で、次いでさいたま市の 27.7%、千葉市の 29.0%となり、この 3 市が全国の 29.5%を下回りました。本市は 39.6%で 5 番目となり上位に属しています。(表 31)

表 31 15 大都市の家族類型別一般世帯数の割合

都市別	総数	親 族 世 帯						非親族世帯	単独世帯	
		総数	核 家 族 世 帯			その他の親族世帯				
			総数	夫婦のみ	夫婦と子		ひとり親と子			
構 成 比 ( % )										
全 国	100.0	70.0	57.9	19.6	29.9	8.4	12.1	0.5	29.5	
札 幌 市	100.0	61.8	56.3	20.2	27.1	9.0	5.5	1.1	37.1	
仙 台 市	100.0	60.8	52.2	17.1	27.6	7.6	8.6	0.7	38.5	
さいたま市	100.0	71.7	64.1	19.6	36.6	7.9	7.6	0.6	27.7	
千 葉 市	100.0	70.2	63.8	20.6	35.0	8.2	6.5	0.7	29.0	
東京都区部	100.0	53.6	48.2	16.8	23.7	7.6	5.5	1.0	45.4	
<b>川 崎 市</b>	<b>100.0</b>	<b>59.4</b>	<b>53.9</b>	<b>18.2</b>	<b>28.8</b>	<b>6.9</b>	<b>5.5</b>	<b>1.0</b>	<b>39.6</b>	
横 浜 市	100.0	69.1	62.7	20.7	34.3	7.7	6.3	0.7	30.2	
静 岡 市	100.0	72.1	57.2	19.2	29.4	8.7	14.8	0.5	27.4	
名 古 屋 市	100.0	62.7	54.9	18.8	28.3	7.9	7.7	0.7	36.6	
京 都 市	100.0	59.5	51.9	17.3	26.3	8.4	7.5	0.6	39.9	
大 阪 市	100.0	56.4	50.7	17.4	24.1	9.3	5.7	0.9	42.7	
神 戸 市	100.0	66.3	60.3	20.6	30.8	9.0	6.0	0.4	33.2	
広 島 市	100.0	65.9	59.5	20.3	31.3	7.8	6.4	0.4	33.7	
北 九 州 市	100.0	67.4	59.6	21.3	28.4	9.8	7.8	0.5	32.1	
福 岡 市	100.0	55.2	49.3	15.3	25.6	8.3	6.0	0.9	43.9	